

平成30年度

事務事業評価表 A (平成29年度の実績評価)

記入年月日
平成 29 年 4 月 2 日

事務事業名		筑波高原キャンプ場管理運営事業				事業区分		担当	
		政策体系上の位置付け				新規/継続 単独/補助		事務事業No. 040302000562	
総合計画の施策名		0403 観光の振興				単独		050301	
政策名		04 活力ある産業のまちづくり				主要事業		所属課 商工観光課	
施策名		03 観光の振興				市長マニフェスト			
手段名		02 ②観光資源の充実と商品開発				未来PJ事業		グループ 商工観光グループ	
		合併建設計画事業				合併建設計画事業			
		財務会計上の位置付け				事業期間			
予算科目		会計 款 項 目 事業 細				一般会計			
01 07 01 04 01 00						単年度繰返し (昭和41年度~)			
法令根拠						期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入			

(Do) 1. 事務事業の現状把握(その1)

(1) 事務事業の概要	
①事務事業の概要(事務事業の全体像)	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順
<p>筑波山中腹にある筑波高原キャンプ場を管理運営する業務。 営業期間=5月1日~9月30日までの5ヶ月間(平成30年度より7・8月以外は金・土・日のみ営業) 105日。 4月1日から受付(電話・FAX)。期間中は管理人をシルバー人材センターに委託。管理人には利用者の受付業務、料金徴収ほか軽作業行ってもらっている。</p>	<p>管理委託契約業務。管理計画の立案。旅館業許可申請。利用者へ関係書類送付。予約受付。予約者名簿の調整。 利用者・利用料金集計表の作成並びに実績表の作成。</p>

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

①手段 (担当者の活動内容)		④活動指標 (活動量を表す指標)		単位	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (計画)	31年度 (目標)	32年度 (目標)
管理委託契約業務。管理計画の立案。旅館業許可申請。利用者へ関係書類送付。予約受付。予約者名簿の調整。利用者・利用料金集計表の作成並びに実績表の作成。		営業日数		日	154.00	154.00	105.00	105.00	105.00
		委託料		円	776.00	776.00	776.00	776.00	776.00
		管理人数		人	3.00	3.00	3.00	3.00	3.00
					0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)		⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)		単位	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (計画)	31年度 (目標)	32年度 (目標)
市民、県民、首都圏の人々		県民・首都圏の人口		千人	42,794.00	42,795.00	42,796.00	42,797.00	42,798.00
					0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
					0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)		⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)		単位	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (計画)	31年度 (目標)	32年度 (目標)
この施設を利用した人が、宿泊体験を通して自然に親しむことができる。		利用者数		人	830.00	1,090.00	1,100.00	1,110.00	1,120.00
					0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
					0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量(事業費)の推移

				28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (計画)	期間限定 総投入量	
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0
			県支出金	千円	0	0	0	0
			地方債	千円	0	0	0	0
			使用料・手数料	千円	0	0	0	0
			その他	千円	0	0	0	0
			一般財源	千円	2,294	2,294	2,294	0
	事業費計(A)	千円	2,294	2,294	2,294	0		
人件費	正規職員従事人数		人	3.00人	3.00人	3.00人		
	述へ業務時間		時間	353.00	350.00	350.00		
	人件費計(B)		千円	1,033	1,024	1,024		
トータルコスト(A)+(B)		千円	3,327	3,318	3,318			

		29年度事業費 実績(千円)		30年度事業費 予算(千円)	
事業費の内訳	11 需用費		457		
	12 役務費		262		
	13 委託料		776		
	14 使用料及び賃借料		781		
	16 原材料費		18		
			合計	2,294	合計

(4) 当該年度の実施内容

※下記に該当する事業は、年度ごとに事業内容を記入する		30年度の事業内容	31年度の事業内容	32年度の事業内容
<ul style="list-style-type: none"> ・主要事業 ・市長マニフェスト ・未来PJ事業 ・合併建設計画事業 				

事務事業名	筑波高原キャンプ場管理運営事業	事務事業No.	40302000562	所属課	商工観光課
-------	-----------------	---------	-------------	-----	-------

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その2)

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	昭和41年5月から事業開始 キャンプ場の形態が様変わりし、オートキャンプが主流となっているため、利用者が年々減少している。しかし、カタクリの花やニリンソウの群生地として、又筑波山登山の基地として知られるようになり多くの見学者が訪れている。
(6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか?	なるべく廃止せずに用途を工夫しながら営業を続けてほしいとの意見が寄せられている。
(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容	筑波高原キャンプ場管理事業を廃止した場合、国有林のため施設を解体し現状復帰すると相当の費用がかかる。また筑波山への登山コースは関東ふれあいの道にも指定されており、市の観光資源であるカタクリやニリンソウの群生地でもあるので、管理は引き続き行っていく必要がある。

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評 価 項 目		
目的 妥当性	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか?) <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	筑波山登山の基地として宿泊ができ自然に親しめる施設である。 市の観光資源である貴重な植物や豊かな自然が体験できる貴重な観光施設であり、市の政策体系と結びついている。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	誰でも使用することが可能な観光施設の管理事業のため妥当である。
有効性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	施設が老朽化しており、使用ができなくなった施設から順番に使用を休止していくが、テントサイトのみ運営は継続を検討しており、利用者の意向など考えながら成果向上を図っていく。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有	全体的に廃止した場合には、施設の荒廃に伴う環境の悪化や国有林の返却に伴う現状回復などの費用が発生することが予想される。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか? (市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) ⇨ 具体的な手段、事務事業名 <input checked="" type="checkbox"/> 余地がない	現在のところ、統廃合や連携可能な事業はない。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか?やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?) <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	施設管理はシルバー人材センターに委託しており、必要最低限の管理のため削減の余地はない。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?) <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である	市民、市民以外でも利用可能な施設であり、利用者には市条例で定めた料金を徴収している。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性 (次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																							
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	老朽化により危険な施設は修理せずに利用を休止している。テントの利用率が高く施設を休止による苦情も特にない。H29はテント料金の見直しを行い、H30より新料金(1人500円)を実施。																							
(3) 今後の事業の方向性	(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																							
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止	(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																							
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策	<table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上	○			維持				低下			
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上	○																						
	維持																							
	低下																							
H29までは平日の予約を受け付けていたが、H30は宿泊者の少ない5・6・9月の平日は休業とし管理委託業務の軽減を図る。	(6) 事務事業優先度評価結果																							
	成果優先度評価結果																							
	コスト削減優先度評価結果																							

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> B A:継続(現状維持) C:終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> A B:継続(改革改善を行う) D:2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>